（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（1）市民体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 本部機能、東山体育館を含む統括・補佐　各１名 管理人　３名、事務員　３名
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設稼働率83.4% 施設利用者数対前年比79.5%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９３日	－３　、９９．０（%）	
施設利用者数	３４，８８９人	４３，８８５人	－８，９９６人 ７９．５（%）	耐震調査による休館のため（5/18～7/17）
施設稼働率＝利用日数／開館日数	８３．４% ２４２日／２９０日	９７．６% ２８５日／２９３日	－１４．２ポイント	〃
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２，７３４，１８３円	３，０３９，５９４円	－３０５，４１１円 ９０．０（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（２）東山体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 市民体育館管理人が兼務
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設稼働率 98.6% 施設利用者数対前年比 111.3%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、備品について、管理記録は適切に記録･保管されていた。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		

	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９３日	－３　、　９９．０(%)	
施設利用者数	２７，０７９人	２４，３０９人	＋２，７７０人 １１１．３（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９８．６% ２８６日／２９０日	９９．３% ２９１日／２９３日	－０．７ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，３５３，８２０円	１，３０８，９３０円	＋４４，８９０円 １０３．４（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし。

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（３）住吉体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 108.6% 施設稼働率 99.7%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２６年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９４日	－４日 ９８．６（%）	
施設利用者数	２０，８９０人	１９，２４３人	＋１，６４７人 １０８．６（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．７% ２８９日／２９０日	９８．９% ２９１日／２９４日	＋０．８ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，１０５，１００円	１，１６６，９７０円	－６１，８７０円 ９４．７（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（４）加茂体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55 点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比　104.1% 施設稼働率 99.7%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９４日	＋4日、９８．６（%）	
施設利用者数	２１，４１８人	２０，５８０人	＋５６８人 １０４．１（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．７% ２８９日／２９０日	９９．３% ２９２日／２９４日	＋０．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，２０８，４９０円	１，２１８，６２０円	－１０，１３０円 ９９．２（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（５）南部体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55 点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比 101.3% 施設稼働率 99.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９４日	－４日 ９８．６（%）	
施設利用者数	１５，７５８人	１５，５５３人	＋２０５人 １０１．３（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．３% ２８８日／２９０日	９８．９% ２９１日／２９４日	＋０．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２６年４～３月〕　Ａ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，２３１，０８０円	１，１６８，４８０円	＋６２，６００円 １０５．４（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（６）弓ヶ浜体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55 点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比 100.3% 施設稼働率 99.7%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	本年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９４日	－４日 ９８．６（%）	
施設利用者数	１３，７７６人	１３，７４０人	＋３６人 １００．３（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．７% ２８９日／２９０日	９９．３% ２９２日／２９４日	＋０．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，２７８，０２０円	１，２８５，０１０円	－６，９９０円 ９９．４（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（7）美保体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55 点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 116.0% 施設稼働率 99.3%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）
Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）
Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）
Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）
※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。
※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９４日	－４日 ９８．６（%）	
施設利用者数	１５，８３９人	１３，６５２人	＋２，１８７人 １１６．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．３% ２８８日／２９０日	９９．３% ２９２日／２９４日	±０ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，１９８，９３０円	１，１１６，５３０円	＋８２，４００円 １０７．４（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

体育館の植栽について、周辺道路にはみ出しているとの苦情あり。指定管理者に剪定を指示して実施した。

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（８）福米体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55 点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 利用者数対前年比 110.8% 施設稼働率 99.7%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９４日	－４日 ９８．６（%）	
施設利用者数	１９，４０１人	１７，５０７人	＋１，８９４人 １１０．８（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．７% ２８９日／２９０日	９９．３% ２９２日／２９４日	＋０．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，４６２，７２０円	１，３５８，９２０円	＋１０３，８００円 １０７．６（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（９）福生体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55 点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 103.6% 施設稼働率 95.5%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９４日	－４日 ９８．６（%）	
施設利用者数	２０，８３１人	２０，１００人	＋７３１人 １０３．６（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９５．５% ２７７日／２９０日	９９．３% ２９２日／２９４日	－３．８ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，５１３，６００円	１，４１０，５８０円	＋１０３，０２０円 １０７．３（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（１０）湊山体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 95.7% 施設稼働率 99.7%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９４日	－４日 ９８．６（%）	
施設利用者数	２０，０９６人	２０，９９６人	－９００人 ９５．７（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．７% ２８９日／２９０日	９９．６% ２９３日／２９４日	＋０．１ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，３６０，６１０円	１，３２３，９７０円	＋３６，６４０円 １０２．８（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

体育館の利用者が閉館時間になっても帰らずに、夜間に騒音があるとの苦情あり。利用者に対して閉館時間を過ぎた後には帰宅を促すよう指定管理者に指示した。

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（１１）箕蚊屋体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 102.2% 施設稼働率 99.7%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９４日	－４日 ９８．６（%）	
施設利用者数	２３，２２４人	２２，７２５人	＋４９９人 １０２．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．７% ２８９日／２９０日	９９．３% ２９２日／２９４日	＋０．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，４００，２８０円	１，３５９，０６０円	＋４１，２２０円 １０３．０（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（１２）米子市営弓道場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 102.6% 施設稼働率 99.7%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９３日	－３日 ９９．０（%）	
施設利用者数	１３，３７９人	１３，０４２人	＋３３７人 １０２．６（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．７% ２８９日／２９０日	１００% ２９３日／２９３日	－０．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	９５０，１４０円	７７１，９７０円	＋１７８，１７０円 １２３．１（%）	実績増

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（１３）米子市営武道館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 管理人２人を配置
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 102.4% 施設稼働率 94.8%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９３日	－３日 ９９．０（%）	
施設利用者数	１４，９８１人	１４，６２３人	＋３５８人 １０２．４（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９４．８% ２７５日／２９０日	９７．２% ２８５日／２９３日	－２．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	８３２，６３０円	７７８，９６０円	＋５３，６７０円 １０６．９（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（１４）米子市淀江体育館	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 淀江運動公園事務所 主任・管理人（３人）計４人
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 97.5% 施設稼働率 99.3%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９０日	２９３日	－３日 ９９．０（%）	
施設利用者数	２４，３９７人	２５，０１２人	－６１５人 ９７．５（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９９．３% ２８８日／２９０日	９７．９% ２８７日／２９３日	＋１．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，５５０，８３０円	１，４８８，０６０円	＋６２，７７０円 １０４．２（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（１５）米子市営淀江球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 淀江体育館勤務者が管理
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 122.6% 施設稼働率 41.1%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３０２日	３５９日	－５７日 ８４．１（%）	
施設利用者数	１１，０９４人	９，０４６人	－６人 １２２．６（%）	実績増 前年に少年野球大会のキャンセル、雨天中止の増加などがあった。
施設稼働率＝利用日数／開館日数	４１．１% １２４日／３０２日	３３．７% １２１日／３５９日	＋７．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	１，７０２，１４０円	１，７４９，７８０円	－４７，６４０円 ９７．３（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（１６）米子市営淀江庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 淀江体育館勤務者が管理
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 143.9% 施設稼働率 51.0%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２９２日	３５９日	－６７日 ８１．３（%）	
施設利用者数	３，３０３人	２，２９６人	＋１，００７人 １４３．９（%）	実績増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５１．０% １４９日／２９２日	４０．６% １４６日／３５９日	＋１０．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	０円	０円	±０円 １００（%）	個人使用のみ 使用料金なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（１７）米子市営淀江スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 淀江体育館勤務者が管理
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 96.3% 施設稼働率 57.7%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３６５日	－６日 ９８．３%	
施設利用者数	１４，６２２人	１５，１８６人	－５６４人 ９６．３（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５７．７% ２０７日／３５９日	６４．３% ２３５日／３６５日	－６．６ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５８９，６８０円	８９４，２４０円	－３０４，５６０円 ６５．９（%）	実績減 ナイター使用の減少

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（１８）米子市営大和公園運動広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が兼務 詰所：本部 運営業務責任者・巡視員（３）・清掃員（２）　計６名
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 86.5% 施設稼働率 45.8%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。 第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。

	⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
	⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３３０日	３６５日	－３５日 ９０．４%	
施設利用者数	３，６２０人	４，１８４人	－５６４人 ８６．５（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	４５．８% １５１日／３３０日	５３．９% １９７日／３６５日	－８．１ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料金の設定なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（１９）米子市営東山陸上競技場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山陸上競技場事務所 所長・管理人（３）　計４人
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 102.7% 施設稼働率 97.8%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３５９日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	５６，７２７人	５５，２０２人	＋１，５２５人 １０２．７（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９７．８% ３５１日／３５９日	９８．３% ３５３日／３５９日	－０．５ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	３３５，０１０円	３０３，２８０円	＋３１，７３０円 １１０．４（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

自主事業なし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（２０）米子市営東山補助グランド	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山陸上競技場事務所職員が管理
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 101.9% 施設稼働率 38.4%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３６５日	－６日 ９８．３（%）	
施設利用者数	１４，８２６人	１４，５５０人	＋２７６人 １０１．９（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	３８．４% １３８日／３５９日	３２．３% １１８日／３６５日	＋６．１ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料設定なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

自主事業なし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（２１）米子市営東山球技場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山公園管理センター職員が管理　詰所：市民球場
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 105.9% 施設稼働率 29.8%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２４２日	２１１日	＋３１日 １１４．７（%）	
施設利用者数	６，７３６人	６，３６０人	＋３７９人 １０５．９（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	２９．８% ７２日／２４２日	４４．０% ９３日／２１１日	－１４．２ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	４２２，４８０円	５２１，１９０円	－９８，７１０円 ８１．１（%）	

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２６年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２７年１２月〕

施設名	（２２）米子市民球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山公園管理センター管理運営管理業務責任者・所長 管理人（５）　計７人
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 165.1% 施設稼働率 78.6%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３５９日	±０日	
施設利用者数	２６，８２５人	１６，２５０人	＋１０，５７５人 １６５．１（%）	実績増 国体中国ブロック大会、少年育成大会などの開催
施設稼働率＝利用日数／開館日数	７８．６% ２８２日／３５９日	７２．７% ２６１日／３５９日	＋５．９ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２，６８２，３１３円	５，０１０，３４５円	－２，３２８，０３２円 ５３．５（%）	実績減 前年度プロ野球公式戦などがあったため。

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２６年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２７年１２月〕

施設名	（２３）米子市営東山庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山公園管理センター職員が管理　詰所：市民球場
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 101.0% 施設稼働率 92.5%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３５９日	±０日 １００（%）	
施設利用者数	４７，９３５人	４７，４６７人	＋４６８人 １０１．０（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９２．５% ３３２日／３５９日	８８．０% ３１６日／３５９日	＋４．５ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	８，８８８，４５０円	８，６９９，７８０円	１８８，６７０円 １０２．２（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

・東山庭球場の利用時間前の早朝から壁打ちをする人がおり、騒音があるとの苦情があったため、張り紙等をして注意を促すよう指定管理者に指示した。

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（２４）米子市営東山スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 東山公園管理センター職員が管理
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 105.4% 施設稼働率 79.7%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３６５日	－６日 ９８．４（%）	
施設利用者数	２６，９９１人	２５，６０９人	＋１，３８２人 １０５．４（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	７９．７% ２８６日／３５９日	８９．３% ３２６日／３６５日	－９．６ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	６８３，１００円	７３３，０５０円	－４９，９５０円 ９３．２（%）	

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（２５）米子市営湊山球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（60点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視（屋外体育施設等）が兼務 詰所：本部 運営業務責任者・巡視員（３）・清掃員（２）　計６名
⑵職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 143.2% 施設稼働率 57.6%
⑵利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。

	⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認
	⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　Ａ（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	２３６日	２４５日	－９日 ９６．３（%）	
施設利用者数	８，３９４人	５，８５８人	＋２，５３６人 １４３．２（%）	実績増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５７．６% １３６日／２３６日	４４．０% １０８日／２４５日	＋１３．６ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	５８１，６１４円	４７４，４８０円	＋１０７，１３４円 １２２．５（%）	実績増

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（２６）米子市営湊山庭球場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が管理 詰所：市民体育館
(2) 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 129.7% 施設稼働率 50.4%
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３５９日	±０日 １００．０（%）	
施設利用者数	５，２７７人	４，０６９人	＋１，２０８人 １２９．７（%）	実績増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５０．４% １８１日／３５９日	３９．５% １４２日／３５９日	＋１０．９ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	０円	０円	±０円	個人使用のみで 使用料なし

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

自主事業なし

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（２７）米子市営日野川運動公園	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が管理 詰所：市民体育館
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 86.0% 施設稼働率 47.7%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1　利用状況　（野球場Ａ～Ｅ）

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３６５日	－６日 ９８．４（%）	
施設利用者数	１３，６２８人	１８，５６８人	－４，９４０人 ７３．４（%）	実績減
施設稼働率＝利用日数／開館日数	５１．８% １８６日／３５９日	４９．５% １８１日／３６５日	＋２．３ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※1　利用状況　（サッカー・ラグビー場）

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３６５日	－６日 ９８．４（%）	
施設利用者数	１０，８０２人	１３，００１人	－２，１９９人 ８３．１（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	６１．６% ２２１日／３５９日	６０．０% ２１９日／３６５日	＋１．６ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※1　利用状況　（少年野球場）

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３６０日	３６５日	－５日 ９８．６（%）	
施設利用者数	４，３８４人	１，９２０人	＋２，４６４人 ２２８．３（%）	実績増 大会開催実績の増
施設稼働率＝利用日数／開館日数	２９．７% １０７日／３６０日	２０．８% ７６日／３６５日	＋８．９ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※2　事業収支

（1）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料設定なし

（2）支　出　**総括表に記載**

※3　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※4　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

5　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（２８）米子市営日野川堰運動広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が管理 詰所：市民体育館
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 80.2% 施設稼働率 91.6%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	４　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	５　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	立入調査・資料確認 情報公開の取組み、個人情報等の管理は適切に行われていた。
	６　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	１　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	２　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	３　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	４　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	５　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	１　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※２**		総括表に記載
	２　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※３**		総括表に記載
	３　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※４**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （５１）点/（７５）点 ×100＝（６８） 平均点 （３．４）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３６５日	－６日 ９８．４（%）	
施設利用者数	１３，６５７人	１７，０３０人	－３．３７３人 ８０．２（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	９１．６% ３２９日／３５９日	８８．２% ３２２日／３６５日	＋３．４ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	―	―	―	使用料設定なし

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付

（別紙２）

平成２７年度「米子市体育施設及び都市公園」モニタリング評価表　〔平成２８年１２月〕

施設名	（２９）米子市営河崎公園スポーツ広場	
施設所管課	教育委員会事務局　体育課	
指定管理者名	団体名	有限会社　平井工業
	所在地	米子市河岡９５４番地１
指定期間	平成２３年　４月　１日　～　平成２８年　３月３１日	
選定方法	公　募・　非公募	
施設の設置目的	米子市におけるスポーツの推進及び市民の心身の健全な発達に寄与するため、体育施設として設置する。	
主な実施事業	自主事業なし	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
Ⅰ　履行の確認（55点）			
１　施設全般の管理運営に関する業務			
⑴ 管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	立入調査 各施設等巡視が管理 詰所：市民体育館
⑵ 職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認
⑶ 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	資料確認
２　利用者に関する業務			
⑴ 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか **補足資料※１**	B	資料確認 施設利用者数対前年比 88.8% 施設稼働率 74.7%
⑵ 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認 アンケート調査を実施し、要望の把握に努めている。
３　保守点検並びに清掃等の業務			
⑴ 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 建物、設備、備品について、適切に保守点検を行い、管理記録も適切に記録･保管されていた。第三者に委託する業務も浄化槽の点検など専門的な技術を要するものだった。
⑵ 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認 清掃等維持管理業務について、適切に行われていた。
⑶ 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	立入調査・資料確認

	⑷ 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	立入調査・資料確認 施設の保全に関して積極的かつ迅速に対応されている。
	4　自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか		
	5　情報公開･個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	D	立入調査・資料確認 利用申請書の保管場所について不適切な場所があった。
	6　管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	B	立入調査・資料確認
Ⅱ　サービスの質の評価（25点）				
	1　利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	立入調査・資料確認 利用者満足度についてアンケートの結果、総合的な満足度は高かった。 アンケート結果については総括表に記載
	2　維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	A	立入調査・資料確認 維持管理についても修繕と同様に積極的かつ迅速に対応されている。
	3　運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	立入調査
	4　自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか		
	5　施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	立入調査
Ⅲ　サービスの安定性の評価（　点）				
	1　事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか **補足資料※2**		総括表に記載
	2　経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※3**		総括表に記載
	3　団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか **補足資料※4**		総括表に記載

【総評（所管課評価）】 概ね良好な管理内容であり、アンケート調査においても良好な結果である。	合計点 （４８）点/（７５）点 ×100＝（６４） 平均点 （３．２）点

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分　A（優　良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（５点）

Ｂ（良　好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（３点）

Ｃ（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（１点）

Ｄ（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（０点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※１　利用状況

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	３５９日	３６５日	－６日 ９８．４（%）	
施設利用者数	５，９００人	６，６４５人	－７４５人 ８８．８（%）	
施設稼働率＝利用日数／開館日数	７４．７% ２６８日／３５９日	７２．８% ２６６日／３６５日	＋１．９ポイント	
事業開催数	―	―	―	―

※２　事業収支

（１）収　入

項　　目	本年度〔平成２７年４～３月〕　Ａ	前年度〔平成２６年４～３月〕　Ｂ	対比 Ａ－Ｂ、Ａ/Ｂ	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
施設使用料	２３５，１２５円	３８６，７４５円	－１５１，６２０円 ６０．７（%）	実績減 ナイター使用の減少

（２）支　出　**総括表に記載**

※３　経営状況分析指標　**総括表に記載**

※４　団体等の経営状況（年度毎に実施）　**総括表に記載**

５　利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

６　利用者アンケートの結果

総括表に添付